

## 海老名市女性の活躍推進事業所を表彰



市は、女性の能力を活用し、働きやすい職場づくりに取り組む市内事業所を募集・表彰しています。令和4年度は「特定非営利活動法人grand-mere(グランメール)」を、男女共同参画協議会委員が視察・選考し、令和5年1月14日に表彰式を執り行いました。

### グ ラ ン メ ール 特定非営利活動法人grand-mere

(中新田、福祉事業)

その子がその子らしく、安心して社会に飛び立つ準備をするための障がい児通所支援事業所です。

- ライフスタイルに合わせた勤務時間の設定や、時間単位での有給休暇取得など、ワーク・ライフ・バランスのために柔軟な勤務体制を確立している。
- 職員同士が気軽に相談しあえる雰囲気づくりや定期的なストレスチェック、事業の管理責任者や心理職との面談など、職員の不安や不調を見逃さず解消するためのきめ細かい対策を行っている。
- 性別の差がない管理職登用を行っている。



グランメールはフランス語で「おばあちゃん」を意味します。



#### \* 過去の表彰事業所 \*

サンプラス株式会社、株式会社島忠海老名店、株式会社ハーモニー、  
コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 海老名工場、株式会社正和製作所、  
イオンリテール株式会社イオン海老名店、株式会社かどや、アツギ株式会社、  
社会福祉法人中心会、株式会社ハートフルタクシー、株式会社ヤマシンホーム、



## 育休は 生き方・働き方を考える良いチャンスです

### ■ パパの子育て進出 どんどん増えています！

男性の家庭生活への参画促進は、男性自身の仕事と家庭生活の両立のみならず、女性の活躍促進、ひいては、少子化対策の観点からも極めて重要です。



### ■ なぜ今 男性の育児に伴う休暇・休業の取得促進なの？

育児休暇取得は、男性職員本人や家族にとってだけでなく、職場や社会にとっても意義のある、非常に重要な取り組みです。



## ■ 男性の育児休業を歓迎した職場では好影響を実感！

男性の育児休業取得は、職場に次のような影響があります。

- ◆ 仕事の進め方を職場で見直すきっかけになった ⇒ 36.9%
- ◆ 各人が仕事に効率的に取り組むようになった ⇒ 32.4%
- ◆ 職場の結束が強まった ⇒ 26.1%



## ■ 上司が率先して部下に育休を推奨しましょう

部下の育休取得はマネジメントを見直す良い機会です。業務や分担を見直し、職員全員に最適な職場環境づくりをしましょう。そして育休取得が当たり前であるという雰囲気職場全体で育てましょう。めざせイクボス！

## ■ 育休は1か月以上取得しましょう

男性育休は父親になる全ての人の権利です。子どもが生まれた全ての男性職員が、合計1か月以上取得することを目指しましょう。コツは、育児休業だけではなく、「男の産休」や年次休暇等を組み合わせることです。

(参考：内閣官房内閣人事局ホームページ、職員周知・勸奨用リーフレット)



### 知っていますか？ 男女共同参画用語 No.13

## 「テレワーク」

Tele（離れて）とWork（仕事）を組み合わせた造語です。情報通信技術を活用し、時間や場所を有効に活用する柔軟な働き方のことを言います。在宅勤務、サテライトオフィス勤務もテレワークです。適切な労務管理下におけるテレワークは、業務の効率化や、通勤負担の軽減によるワーク・ライフ・バランスの実現を図ることができます。

### 相談係より



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

海老名市は、女性相談員による女性のための相談を実施しています。夫やパートナー男性からの暴力・女性の悩みについて一緒に考えます。

女性相談ダイヤル ☎ 046-231-2224

月～金曜日 9時15分～12時、13時～17時15分

※祝日・休日・年末年始除く ※緊急時は警察へ連絡してください





## 男女共同参画推進員の声 ～男性の育児休暇取得について～



- 男性が育児休暇を取得するために、事前に考えておかなければならないことが沢山あります。仕事や育児の学習、夫婦での話し合い、生活面での工夫など。上司とも事前に話し合いが必要です。夫婦で育児・家事を分担することで、自分たちの日常生活をみつめなおし、うまれてくる子どもの成長も見守っていくようになります。(飯田)
- 回復の兆しのない日本の出生数低下、経済的不安ばかりではなく、産むのが不安な状況もあります。出産後も仕事の継続を望む女性が増えている現状においても、家事、育児の負担は女性に著しく偏っています。昭和の高度成長期のままです。子どもの安全を守り健全に育てる責任は大きく、精神的、体力的にも大変です。男性が当事者として自然に育児休暇を取得し、皆が本気で子育てに取り組めば、子育てが楽しい国に変わるのではと期待します。(滝口)
- 10年前、家族が1か月間の男性育休をとったとき、男性育休はまだ珍しかったのですが、職場であとに続く人が出ました。第3子の時は1年間育休をとり、母親は早々に職場へ。育児は母乳以外なら誰でもできることです。皆さんも育休取得で家庭にコミットしましょう。(福田)
- 育児・家事の負担は妻・母にとって大変なものです。男性の育休は、家事・育児の負担をとともに、生の感情をやり取りして、二人で一緒に子どもを育てる楽しみを共有できます。男性も子育ての喜びを感じられます。女性も手助けしてくれる感謝と相手がいる事の安心、ゆとり、喜びが増えます。育休はすばらしい精神安定剤かもしれません。(松石)
- 【夫の育休取得が妻の命と夫婦関係を救う】産後うつは産婦の10～15%の方が罹り、産後3か月以内に発症することが多いようです。発症の背景としては、夫からのサポート不足など育児環境要因による影響も大きいとされています(日本産科医会 H.P)。／私は都内で相談業務をしていますが、直近3ヶ月だけでも、臨月の近い妊婦の方や産後半年以内の方など3人から「死にたいほどつらい」という相談を受けました。彼女たちは夫の協力が得られないことと睡眠不足の辛さを訴えていました。協力しない夫とすでに別居されている方もいました。／男性の育休取得は夫婦関係を改善し、生産性向上や出生率アップにもつながります。みんなで取得を応援しましょう。(山崎)
- 近年、特に若い世代において男性の育児参加が重要であるという考え方が浸透してきました。「イクメン」という言葉も広く使われるようになり、育児休業給付金・パパママ育休プラス・パパ休暇など、男性が子育てをしやすい環境も整備されつつあります。育児休暇を取得する権利は、男性にも女性と同様にあります。しかし「職場で理解されにくい」「評価に響くなどキャリアに支障が出そう」「出世コースから外されそう」といった理由から、育児休暇の取得を悩んでいる男性も多いという現実もあります。今後の仕事に悪影響を及ぼさないためにも、職場での良好な関係を築き、余裕をもって引継ぎをスムーズに行えること、早めに育児休暇取得の意思・相談を行うなど、職場の理解を得ることはとても大切です。お子さんの成長が著しい時期の育児サポートは、赤ちゃんの成長を共に見守るといふ家族の父親としての大切な経験でもあり、ご自身の今後の人生の糧にもなると思います。誰もが気持ちよく利用できる制度になることを願っています。(山本)



発行 海老名市 市民相談課 人権男女共同参画係

電話 046-235-4568 (直通)

\*市HP (<http://www.city.ebina.kanagawa.jp>)でも閲覧できます。

\*ご意見・感想は市HPのお問い合わせフォームよりお送りください。



海老名市  
住みたい 住み続けたいまち

